

伊那市美術館協議会会議録

件名	令和7年度 第2回 伊那市美術館協議会
----	---------------------

日時	令和8年3月13日（金）午後1時30分～2時15分
場所	信州高遠美術館 2階 研修室

出席者

関係者		教育委員会	
職名	氏名	職名	氏名
会長	大脇 弘造	教育長	福與 雅寿
職務代理者	北原 秀志	教育次長	高嶋 利幸
委員	伊東 重明	生涯学習課長	柴 千恵美
	山崎 重幸	美術館館長	捧 剛太
	中山 勝司	美術館副館長	馬場 文教
	黒河内 京子		
	今牧 博美		
	伊藤 仁八		
欠席者	原 未那美		

(進行) 生涯学習課長

1 開会 教育次長

2 あいさつ

(教育長)

既に3月半ばに入り、そろそろ桜の季節を迎えます。開花予想では高遠城址公園は4月8日あたりが満開になりそうですが、毎年この美術館では観応期に企画展を開催しておりまして、今年は東京藝術大学との連携40年ということで、藝大卒展サテライトという展覧会を来週3月21日から5月31日まで開催する予定となっております。東京藝術大学との関わりは、高遠出身の伊澤修二先生が藝大の前身である東京音楽学校の初代校長であったということで旧高遠町のころに交流が始まり、今年が40年目の節目に当たるとということで、藝大に相談したところ卒展を高遠美術館で開催する運びになりました。藝大の卒展は、学部の卒業生、大学院の修了生のすばらしい作品が展示されるため、土日の入場は事前予約制というような注目される展覧会だそうです。その中からより優れたものをこちらへ運んでいただいて、伊那の皆さんに見ていただける絶好の機会だと考えております。21日にはオープニング式典がございます。委員の皆様にもご案内を差し上げてございますのでご参加いただければありがたいと思っています。

また、今年度、この美術館におきましては照明のLED化工事をいたしまして、この部屋も明るくなったと思いますが、この会が終わった後、展示室等のLED化の状況についてもご説明いたしますのでご覧いただきたい思います。

本日の会議では、今年度の事業報告そして来年度の計画等について、資料に沿って説明させていただきますので、忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。頂戴いたしましたご意見を参考にいたしましてより良い美術館運営を進めて参りたいと思っておりますので、是非、いろんな角度からのご意見を頂戴できたらと思っております。整いませんが開会に当たっての挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

(会長)

ご苦勞様です。前回の会議を欠席いたしましたこととお詫びいたします。今日の会議は、教育長さんのお話にありましたような協議事項等がありますので、是非、活発なご意見を出していただきたいと思います。よろしく願いします。

3 協議事項 (進行：会長)

(1) 令和7年度事業について

【資料説明】(職員)

資料1ページをご覧くださいと思います。令和7年の事業の報告です。現在LED化工事の関係で休館しております、この3月21日から始まる新しい展覧会の年度末までの入館者等が令和7年度の実績になります。まだ少し残っておりますが、これまでのご報告をいたします。

企画展として昨年度3月8日から今年度にかけて「収蔵作品展～伊那に伝わる美の系譜～」を行ないまして資料にあるとおりの数字です。(イ)と(カ)が貸館、その他が自主事業として行っています。数字はご覧いただきたいと思いますが、例年口頭でお話しさせていただいております1日あたりの入館者数を記述しましたので参考にいただければと思います。特に(エ)の「伊那谷現代作家6人展」は現在この地域で活躍している作家さん6人の展覧会ということで、こういう意味合いのものは初めて行いました。それと(キ)は、戦後80年の機会に戦争について考える展覧会「戦後80年展～創造の翼を広げる作家たち～」を行いました。1日あたりで見ますと、やはり観桜期の入館者が多くなっています。その他で20人を超えている展覧会がありますが、分析をすると美術館で行っている展覧会以外のアートスクールとか貸館で使っているピアノ教室の発表会やコンサートであるとか、そのようなことがあると行事に参加した方々に展覧会を見ていただきますので、それが数値に影響していることもございます。ただ現代作家6人展などは、地域で活躍されている作家さんの展覧会ですので、入館者も多くなっていると思われます。企画展につきましては以上です。

市民ギャラリー展ですが、1ページから2ページに掛けてです。10の展覧会を行っています。こちらは地域で活動している作家さん、美術愛好家の方の発表の場として市民ギャラリーを提供しているケースと、展示室の展覧会と連携して行っているケースがあります。こちら入館者数に少し影響がありまして、作家さんが盛んにお知り合いに声を掛けていただくことにより、期間中の入館者数が増えることもあるかと思えます。

(ウ)のアートスクールは、年間を通じて美術に興味のある方に何かを体験していただけるような講座を13講座行っております。講師になっていただいている方も地域で活躍している方々をお願いしています。こちら参加者数を今回初めて資料に記述いたしました。定員が10人ぐらいのものが主で、定員に達しないものもありました。定員に達している講座は、ポーセラーツ講座など6講座、デッサン講座は定員15人のところ19人参加いただいております。アクリル画講座は定員15人に少し届かなかった。年賀状ステンシル講座は定員に達しています。

次は、ミュージアムコンサートですが6月1日に小坂紘未ピアノリサイタルを行いました。これは前回の協議会でもご説明しましたが伊那市出身の方の娘さんが中央でピアニストとして活躍されていまして、美術作品の寄贈をいただいた折にお願いしまして実施したものです。入場者は69人でした。

貸し館の事業では、ロビーの利用が13件、展示室が2件お貸ししました。

東京藝術大学連携事業につきましては、40年の連携の中で美術部門も平成17年から継続してワークショップをしていただいております。藝大の担当の先生と大学院生が企画したこどもワークショップを実施しております、地域の皆さんとの連携というよ

うなことも模索したりしたこともあり、そのようなものも含めまして現在まで続いています。コロナ明けからこどもワークショップのみの開催となっておりますが、今年度につきましては「藝大生と一緒に季節を描こう いろ・いろ いろ・いろ」というワークショップでした。こちらは大きな紙にみんなで伊那の四季をイメージして絵を描いていただいて、その絵をいったん掲示して一緒にお昼ごはんを食べ、午後はその大きな絵を手帳ぐらいの大きさに切って好きな絵を選んでノートブックを作るというワークショップでした。参加者36人、定員は30人でしたが藝大の方にご理解いただいて定員を増やして開催しました。

続いて施設整備ですが、照明のLED化ほか工事、「ほか」というのは高圧の受変電設備も対応年数がだいぶ過ぎていまして、その更新工事も含まれています。ご覧の契約金額で行いました。もう一つは、館内の無線LANの設備を作りました。今設定をしていただければ館内でWi-Fiがご利用いただける状況になっております。観光客の利便性向上など今そういった需要が多くなっていること、無線LANを使って何か提供できるサービス、例えば作品の説明に使うとか、今後考えて行きたいと思っています。

【質疑・応答】 特になし

【採決】

会長：ご意見がないようですので、「令和7年度事業について」をお認めいただけることでよろしいでしょうか。

＜異議なしの声＞

会長：ありがとうございます。それでは「令和7年度事業について」は承認されました。

（２）令和8年度事業について

【資料説明】（職員）

最初に企画展ですが、3月21日から始まります藝大連携40年展の藝大卒展サテライトを5月31日まで行います。観桜期にたくさんの方に来ていただけるように広告宣伝に力を入れたいと思っております。来年度に関しましては貸館が（２）（６）（８）の３つございます。毎年やっている美術交流展、円室ギャラリーの企画展などをやっていただきます。その他の企画展といたしましては収蔵作品展が６月に２回、また毎年やっております若手アーティスト展を８月の夏休みから１０月にかけて行います。こちらは非常に面白いものが毎年あるのですがなかなか見ていただく機会が少ないので、なんとかいろいろな所に情報を発信して多くの方に見ていただけるようなものにしたいと考えています。どうしても若手アーティストというと、一般的な知名度はありませんが、この地域に縁のある作家ですので、発信の仕方次第では多くの人に来ていただけるのではないかと考えています。また１０月からは収蔵作品展、そして１２月には伊那市誕生２０周年記念ということで「未来を織りなす伊那市小中高生美術作品展」を行います。こちらが１２月から１月まで、また収蔵作品展が続きます。来年の３月から新しい

観桜期企画展を考えております。

続きまして市民ギャラリー展ですが、(エ)の藝大ワークショップ回顧展が先ほど副館長から説明がありました過去に連携で行ったワークショップ等の成果物ですとかその時の画像、写真ですとか過去の連携を見ていただくような展示を考えております。これも藝大連携40年事業の一つの施策として行います。その他、例年行っている高遠高校芸術フェスティバル等がございます。こちら地元とのつながりということで、地元の若者たちの作品を見ていただく機会をつくろうと考えております。

その他、恒例の事業ではありますけれども、様々なアートスクールやミュージアムコンサート、貸館事業、東京藝術大学連携事業としてワークショップも実施する予定でおります。また、来年度は、収蔵庫の燻蒸も予定しております。以上、令和8年度の事業についてご説明いたしました。

【質疑・応答】

委員：こどもたちとのワークショップというのが、いいなと思うのですが、今年度のワークショップに参加した子どもさんたちは小学生ですか。

職員：令和7年度の東京藝術大学連携のワークショップの参加者は、すべて小学生でした。

委員：それは高遠小学校の子どもたちが多いんですか。

職員：ワークショップの情報は、市内の小中学校21校すべてにお知らせし、参加者を募っておりますので、今回も満遍なく市内の学校から応募がありました。

委員：今年度の事業の話になるが、来年度はそういった企画は予定されていないのか。

職員：東京藝術大学連携のワークショップとして予定しています。今後、ワークショップの企画を提示していただくことになっています。

職員：例年、大学院生がワークショップの内容を計画するので、年度が変わり新しい大学院生が令和8年度の企画をします。具体的な内容が決まるのは、年度が変わってからになります。

委員：そうすると子ども対象でないこともあるのか。

職員：そこはこどもワークショップということでお願いしています。

委員：とても良い企画だと思いますので是非進めていただきたいと思います。

委員：藝大卒展<サテライト>のサテライトとはどういう意味あいですか。

職員：藝大の卒展が1月末にございます。これは、すべての大学卒業生、大学院修了生の作品を展示するもので、藝大の建物の中だけではなく東京都美術館にも展示します。その中から優秀な作品を選んで、衛星のごとく高遠で展示するという意味のサテライトです。卒業・修了制作の作品のエッセンスを持ってくる形になると思います。

委員：選りすぐられたものですね。ありがとうございました。

【採決】

会長：他に無いようでしたら、「令和８年度事業について」お認めいただくことでよろしいでしょうか。

<異議なしの声>

会長：「令和８年度事業について」は承認されました。

4 報告事項

【資料説明】（職員）

（１）令和８年度展示室貸館規定に基づく展覧会について

展示室の貸館につきましては、この協議会の委員の皆さんの意見を聞いて承認を得て行うことになってまして、前回の会議で承認をいただいています。今回は、そのご確認をいただくというものですので報告事項に入れさせていただきます。

（ア）の「美術交流展2026in高遠」は、主催が美術交流展2026in高遠実行委員会です。公募展に応募のあった上伊那と群馬県の方々を中心に名古屋や関西の方の作品を展示し、作家さん同士の交流を深めるというものです。会期は、令和８年６月６日から21日までです。

（イ）の「奥村憲作品展」は、地元で活躍されている奥村さんの個展を開催するものです。10月31日から11月15日まで。アルプスを中心に描いた作品、また胡桃洪を使った作品を展示されると聞いています。

（ウ）の「円室ギャラリー企画展」ですが、市内にある円室ギャラリーが企画するもので、経営されている方は中国の方で主に中国の作家さんと日本、この地域の作家さんとのコラボの展覧会というものを模索をして企画しています。11月21日から12月６日までの会期で行います。

展示室貸館規定に基づく展覧会規定については以上です。

（２）令和７年度美術品の寄附等について

今年度中に頂きました寄付寄託購入等のご報告です。今年度は、寄託、購入がありませんでした。寄附につきましては、24点で美術作品15点、資料的なものが９点でございます。詳細につきましては資料５ページから８ページまでに表にしてございます。寄附をいただいた方ですが、１番から14番までの作品と資料１から資料９までが同じ方で右側の欄のとおり東京都港区の方です。作家張替正次のご親戚にあたる方で、その関係で所有されていた作品の寄贈を考え、過去に張替正次展を開催している高遠美術館を知り寄贈のお話をいただいたものです。作品につきましては資料をご覧ください。

もうひと方は松本市の方で、小松さんの母さんが大切に保管されていた作品で小坂芝田の屏風です。お母さんが亡くなられ管理などを専門施設である美術館でしてもらい、展覧会等に活用してもらいたいという思いでご寄贈いただきました。

資料９点は、東京都港区の方からいただいた張替正次さんの干支の色紙が主なものです。親戚関係もあって、毎年張替さんがプレゼントしていたものではないかと思えます。報告事項は以上です。

【質疑応答】特になし

会長：協議事項、報告事項が終わりましたので進行を事務局にお返しいたします。

5 その他

【委員から】特になし

【事務局から】

2点ほどお願いします。

まず1点は、藝大連携40年展のオープニング式典のご案内を差し上げてございますが、3月21日土曜日午前10時から美術館のロビーで行います。式典に先立ちまして今回藝大連携40年記念に音楽学部の学生によるピアノの演奏があります。演奏者は穂刈愛琳さん。展覧会への出品作家さんも当日お見えになって式典の後それぞれ作品の紹介をしていただけたと思いますので是非ご出席いただきますようお願いいたします。もうひとつ、東京藝術大学の日比野克彦学長によるトークイベントを3月28日の土曜日午後5時から行います。これまでの交流を振り返りつつ、東京藝術大学が日本の各地で行ってきている文化事業ですとか学長さんが常々おっしゃっていますアートが社会を動かすんだというアートの力を社会に生かす取り組み、そういったことを紹介していただけます。只今、100名の定員で申し込みを受け付けてまします。委員さんもしよろしければこの後申し込んでいただければと思います。よろしくお願いいたします。2点目ですが、委員さんの任期が令和8年7月1日までになっております。今回の会議が最後の会議になります。改めましてお世話になりましたことにお礼申し上げます。今後、改選にあたりましては、各団体に推薦をいただいて新たな委員さんをお願いしていきます。また、来年度からは2回行っていた委員会を1回にしたいと考えております。7年度の決算のご報告と9年度事業に対するご意見をいただく会議を1回で行いたいと考えておりますのでご承知おきいただければと思います。任期が終わりましたも是非、高遠美術館をお見守りいただき、何か気が付いたことがございましたらお知らせくださいますようお願いいたします。ありがとうございました。

6 閉会 （北原職務代理者）

副館長さんからの話しのとおり今回が最終の会議ということでございます。任期中、大変お疲れさまでした。それでは以上をもちまして第2回伊那市美術館協議会を閉じたいと思います。お疲れさまでした。